

平成16年台風第23号

未来に繋ぐ 記録

～災害に強い地域づくりのために～



歴史的水害の記憶を後世に語り継ぐために

平成16年10月20日、台風23号が日本に上陸し、由良川流域は大きな被害に見舞われました。

これまでも特異な地形を呈する由良川は、たびたびはん濫を繰り返し、地域やそこに住む人々に大きな被害をもたらしてきました。由良川と人々の歴史、それは水害と人々の戦いの歴史と言っても過言ではありません。しかしその一方で、由良川は四季折々の美しい風景で私たちの暮らしを豊かに彩り、大自然の恵みをもたらしてくれています。

平成16年台風23号による甚大な被害を受け、緊急的な治水対策を推進するとともに、河川情報のきめ細かな提供等、地域防災力を向上させるために「緊急水防災対策」を実施しています。今後も「安全な川づくり」(治水・利水)、「うるおいのある川づくり」(環境)、「活力のある川づくり」(地域整備の支援)を目標に関係機関及び地域・住民の皆さまと連携を図りながら河川の整備を推進していきます。

この写真集は、台風23号による歴史的水害の記憶と自然の猛威から学んだことを風化させず後世に語り継ぐために作成いたしました。地域住民の皆さまと共に由良川を考える機会となり、防災意識を高め、未来に繋ぐメッセージとなれば幸いです。

また、編集にあたり多くの地域住民の皆さま・関係機関から写真を提供していただきましたことに心より感謝を申し上げます。

平成20年3月

国土交通省 福知山河川国道事務所長

佐古 康廣